

10月 モニターレポート		担当出張所	木津川出張所
担当区間	木津川中流兩岸 山城大橋～泉大橋 (13.5～25.0km)		
モニター実施日時	令和元年 10月 19日(土) 10時～13時半頃		
天候	小雨～晴れ		

(見出し)

井路川排水樋門～山城大橋の左岸についてモニターしました。

(内容)

井路川排水樋門の近くにある看板は、管理者の名前が消えていて、読み取ることが出来ませんでした。



サイクリングロードはもちろん、両側に広がる草むらにもゴミが落ちていませんでしたが、玉水橋近くになると、土手に大型のゴミが落ちていました。

人が降りられる場所には必ずゴミが落ちています。

今回のモニターでは、犬の糞がよく落ちていました。

台風の後なので、川の水位が上がり、流れも速いです。

中洲の木が横向きに倒されています。



1週間前は、台風19号によって数多くの堤防が決壊したことから、注意深く見てみると、木津川市も堤防からの街並みには田園が広がり、家々や建物が建ち並んでいます。
昔、木津川も大氾濫が起こり、甚大な被害を受けたことを思い出し、心配になりました。

久保田樋門に到着しました。やはり、水位が高いです。



サイクリングロードに亀裂が入っています。
自転車で走るとデコボコしており、走りにくかったです。
看板も割れており、応急処置で固定されていました。



高水敷には数多くの木や草が生えており、川には近づけません。
野バラの実や、セイタカアワダチソウが咲き、植物から秋が来たことが感じられます。



玉水橋から川を見ると、川の中央部に人が居ました。

高水敷から川に降りるところには、木が沢山生えていたので、どこから降りたのでしょうか？

川の水位も高く、流れも速いので危ないです。



毎週台風や大雨で河川が原因となる大きな被害が出ているニュースを見ます。

継続した河川の管理の大切さを感じます。

(意見・感想・処置等)

モニターレポートありがとうございます。

河川管理境界の看板については事務所名変更後応急的に上から貼っておりその後未対応になっています。

今年の木津川で1番大きな洪水となった台風19号では特に三重県での降雨が多く木津川流域平均雨量は約200mmになりました。木津川では、ほとんどの高水敷が浸かりましたので市や町が占有しているグラウンドが洗掘されたりする被害を受けましたが大きな被害はありませんでした。今回の台風では多くの川で決壊がありましたので私どもとしても身の引き締まる思いです。近年ではいつ、どこで、どれほどの雨が降るのか予測はしていてもその予測を越えることも少なくないなか堤防等で洪水を抑え込むのには限界があります。被害のニュースでも耳にされることも多くなった『命を守る行動』つまり『避難』することが重要です。

京都府道のサイクリングロードは今年と来年で舗装の打ち替えを実施すると聞いています。ご意見の箇所も綺麗になるかもしれませんね。

川の草木、景色からも秋を感じられるようになりましたね。心地良い日中に比べ朝晩の気温は低くなりますので体調管理などお気を付け頂きながらモニターなさってくださいね。

次回のレポートも楽しみにしています。